



# 全国道場少年剣道大会 公式認定

2017 夏



全国道場少年剣道大会は、2017年の「第52回大会」から  
SSPシールが貼付している竹刀のみが  
試合基準を満たす竹刀として、  
公式に認定、採用されることとなります。

10年前からすでに、日本国内で流通する竹刀の2/3に(年間約70万本)  
安全な竹刀の基準として厳しい審査をクリアした証として、SSPシールが竹刀に貼付しています。  
国内の全ての試合基準を完全に満たしPL保険も適用される正しい称号が「SSP」です。

 全日本剣道道場連盟  
 全日本武道具協同組合



全日本剣道道場連盟が主催する全国道場少年剣道大会は、2017年の「第52回大会」から、SSPシールが貼付している竹刀の使用が大会で義務化されます。全国の優良専門店で購入することができる上、全日本剣道連盟の試合規格基準を完全に満たしていることが一目瞭然。安全を第一に、さらに万一の場合はPL保険が適用される竹刀の証であることが採用の理由となっています。剣士たちの健全な精進を支えるために、日々、剣士育成に邁進される指導者の方々と共に歩みを進め、10年以上かけて培われてきたSSPシール竹刀の普及のひとつの証としてぜひご理解いただきたくお願い申し上げます。

# 正しい称号。

## 《SSPシール普及の目的》

「規格製品の供給浸透による事故防止」

「全日本剣道連盟の試合規格を満たす品質保証」

「剣士の安全を考えない不良品の排除」



## Shinai (竹刀) Safety (安全) Promotion (推進)

「SSPシール」は全日本剣道連盟の試合規格に基づいた「安全な竹刀普及のルール」の証です

### 《全日本武道具協同組合の目的と概観》

全日本武道具協同組合は、日本国内で武道具用品に携わる業者の集まりです。

全武協に加盟している業者は、武道具の小売店、卸売業者、製造業者、材料業者、職人が加盟している日本唯一の団体です。

より良い武道具用品を提供することにより、日本の伝統文化である武道が安全で健全な発展に寄与することを目的としています。

武道は格技です。激しく厳しい対戦の中で、身体を保護し、動き易い、且つ美的にも優れた武道具は先人の知恵の結晶です。

全武協では、日本伝統の“技”を受け継ぎ、時代に即した武道具用品の開発研究と品質向上を追究しています。

全武協は、昭和43年に全日本武道具連合会として組織され、平成

18年に協同組合として改組されました。現在、加盟業者は130社余社であり、組織率は40%ほどです。

主な活動は、武道具用品の技術の伝承と開発研究、品質保証、協同製造・販売、広報活動、武道の普及活動、組合員の福利厚生と多岐に涉っています。

粗悪な武道具は、怪我に直結して危険です。特に重点活動として、全武協では「武道具安全推進室」を設置し、安全で高品質の武道具の提供を推進しています。

平成19年より展開している事業で、剣道の竹刀の品質保証を目的とした「SSPシール」事業は、公式試合での不良竹刀の激減を促し、安全な剣道の啓発活動に大きな効果をあげています。

